

滋賀有機ネットワーク

所在地 滋賀県栗東市荒張

視察日 2016年12月2日(金)

主な取扱品目 ミニトマト、キャベツ、小松菜、水菜、青ねぎ 他

滋賀有機ネットワークは県内の生産者グループ「栗東有機栽培グループ」「大中産直連合」「安土産直部会」の産直農産物の生産と販売を継続的に行っている。県内の農家約80戸が登録し、消費者との産直連携によって、農家経営の安定と後継者の育成、生産基盤の確立と産地育成を推進している。その内今回視察した「大中産直連合」は琵琶湖の内湖を干拓した大中地区で生産している。使用農薬を地域慣行防除の5割以下に抑え環境に配慮した農業を目指している。

商品の 特徴



ミニトマトは、使用農薬を地域慣行防除の5割以下に抑え、滋賀県認証の「環境こだわり農産認定」を取得されています。ハウスの土は、近江牛の堆肥を利用し稲わらや土壌中の微生物を活性化させる米ぬかを混ぜた有機肥料で作られています。今年は病気の年で、トマト黄化葉巻病にかかり、また、夏の高温で実がつかず、9月の長雨で日照不足による成育不良など収量が50%以下になっていました。

ふゆみつキャベツは、厳寒期にできる甘みのある人気の寒玉品種。甘みが強く、生食はもちろん、加熱するとさらに甘みが増して主役料理にできるキャベツです。キャベツも夏の高温と9月の長雨の影響を受け収量は減っていました。

生産者の コメント

ミニトマトは、諸条件が重なりかたてない不作となり、12月に本来行わない苗の植え替えを行い、1日も早く例年通りの生産ができるよう頑張っています。新規品目となる「ふゆみつキャベツ」は、加熱すると甘みが増し本当に美味しい冬キャベツです。是非、ご賞味ください。



参加理事の コメント



今年は天候不順に加えて害虫の被害も大きく、何度も苗を植え直すなどの苦労があったとお聞きしました。農産物は工業製品とは違い生産量を見通すことが難しいそうです。そのなかで組合委員のニーズに応え生産量の確保や品質の維持に苦労していただいていることに感謝すると共に産直のパートナーとして私たち組合員も生産地の現状に関心を持つことの大切さを改めて痛感しました。

